

①笑顔がはじける「向山若竹会」

3月17日、豊橋市向山校区市民館に集まった17人のお年寄りが一緒に楽しく歌を歌い、輪になって踊り、笑い声が館内に響く。

毎週金曜日の午前に向山校区の高齢者が集う「向山若竹会」の定期会合は7年前から行われている。

これは豊橋市社会福祉協議会主催のレクリエーションを使った介護予防事業で、現在市内には40

役の村田英子(68)

さんはバスガイドの経験を生かし、みんなを東京見物に連れに行く。

方所の介護予防サロンが開かれていて、体操や脳トレ、折り紙などで楽しく時間を過ごす。

この日は「桃色シスターズ」が参加した。長女役の野口りつ子(74)さんが得意の民謡「おてもやん」を披露し、三女

「皆様、右手をく

覧ください。心がけ

の良し、皆さんのお

かげで、富士山がく

つきりと、見えて参

りました。ここで皆

さんと歌いましょう

あたまを雲の上にだ

し、四方の山を見お

ろして…」

お年寄りの「絆

り」はこのように楽

楽しく「絆づくり」と「居場所づくり

しく行われている。グループを世話す

体動かす、元気をもらっています」と

るのは田嶋忠雄(72)

さんをはじめとする

4人のレクリエーシ

ョンリーダー。豊橋市

社会福祉協議会の講

習を受けて、様々な

ゲームや遊びをマス

ターとしてお年寄りの

集いを支えている。

近所に住む彦坂英

子(80)さんは一人

暮らし。この会に来

楽しむ。

4月からは介護保

険の一部が地域支援

事業に移行し、地域の

自主性や主体性に基

づき、地域で作り上げ

ていくことが要請さ

れ、「地域の力」が問

われている。お互い

さあ、まのまちづくりの

現場を順次紹介してい

く。(伊藤秀昭) ※次回は11日掲載予定



楽しく行われている向山若竹会

おたがいさまの
まちづくり